

# ～第7回市民サロン開催のお知らせ～

都市計画マスタープランの見直しについて、参加いただいた市民の方々で話しを進めます。

★日程 平成25年5月14日(火) 午後7時から

★場所 調布市教育会館 2階201・202会議室(調布駅徒歩5分)

☆今年度も引き続き、定期的に市民サロンを開催します。

第8回テーマ:環境問題(6月21日(金))

→ 第9回テーマ:地域活性化(7月頃)

参加自由です!  
お気軽にご参加ください。

次回のテーマは「環境問題に対応したまちづくり」です。

平成23年度の市民意識調査報告書では、調布市を「住みよい」、「どちらかといえば住みよい」と回答した方が9割以上(92.3%)を占めていました。また、調布のまちの魅力や個性・特色を選ぶ設問で、最も回答が多かったのが「豊かな自然(57.2%)」でした。

住みよい要因の一つである「環境」は、都市計画の中でも重要なテーマです。

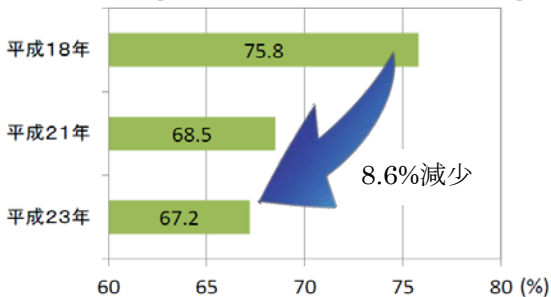


★現在の調布市の環境について少しだけご紹介します!★

## 調布市の環境 水と緑

調布市の緑被率は約32%(H.22)であり、東京23区と比較して高い水準にあります。(東京都23区の緑被率は22.2%(H.19))  
しかし一方で、市民意識調査における緑の保全や自然環境を守る市の取組に対する満足度は低下傾向にあります。

市政に対する満足度 緑の保全や自然環境  
(「満足している」+「どちらかといえば満足している」)



【出典:調布市市民意識調査報告書 平成23年度版】

## 調布市の環境 景観

平成23年度の市民意識調査では、調布市の優れた景観として、深大寺、多摩川、野川、甲州街道、市内から見える富士山などが選ばれています。



## 調布市の環境 低炭素なまちづくり

市の温室効果ガス排出量は、平成15年度(82万7543t-co<sub>2</sub>)に排出が最大となりました。平成21年度は、排出が最大となった平成15年度と比較すると、10.7%の削減となっています。排出量の約70%は民生部門(家庭・業務)が占めており、市民1人1人が低炭素なまちづくりを考えることが求められます。

市の温室効果ガス排出量の削減割合  
平成15年度 82万7,543t-co<sub>2</sub>(排出量最大)

10.7%削減

平成21年度 73万8,926t-co<sub>2</sub>

【出典:調布市平成23年度行政評価 施策18 地球環境の保全】

さらに住みよく、豊かなまちにするためにはどういった取組が必要でしょうか。  
市民のみなさまの様々な意見をお聞かせください。市民サロンへのご参加をお待ちしています!

調布市では、マスタープランの見直し作業の過程等について、このニュースでわかりやすくお知らせしていきます。  
発行 調布市都市整備部 都市計画課 都市計画係  
Tel: 042-481-7453 Fax: 042-481-6800 mail: tikubetu@w2.city.chofu.tokyo.jp

登録番号  
(刊行物番号)  
2013-42

# 調布市 都市計画マスタープラン 見直しニュース 第7号

調布市では、長期的・総合的な視点から今後の都市計画の指針となるものとして平成10年に策定した「調布市都市計画マスタープラン」の見直し・改定に向けた取組を進めております。

平成25年5月7日  
調布市都市計画課発行

## 第6回都市計画マスタープランを考える市民サロンを開催しました!

マスタープラン改定に向けて、第6回市民サロンを3月7日(木)午後7時から開催しました。当日は25人の市民の方にご参加いただき、多くのご意見をいただきました。

### ■第6回市民サロンの概要について

平成23年に発生した東日本大震災や、昨今多発する集中豪雨等による水害災害などを受け、全国的にまちの防災・減災に向けた取組や備えに対する市民意識が高まっています。第6回市民サロンでは、第5回に引き続き「災害に備えるまちづくり」をテーマに話し合いを行いました。

当日は、はじめに、前回の振り返りとして、市から第5回市民サロンでいただいたご意見の概要を紹介し、その後、グループに分かれてテーマについて話し合いを行いました。グループごとの話し合いでは、第5回市民サロンで出された課題を踏まえた取組・方針について話し合いました。



### ■「災害に備えるまちづくり」でいただいた取組・提案のご紹介

※市民サロンで話合った内容の一部を1面・中面でご紹介いたします。

#### ☆Aグループ☆

課題	課題
風水害に強い街づくりを進める必要があるのではないか。	円滑な救助・消防活動を妨げることがあるため、狭あい道路等の解消や道路沿道の建物の耐震化を進める必要があるのではないか。
課題を解決するための取組	
<p>★第6回市民サロンでいただいた提案!</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○野川や入間川の氾濫を防ぐために、各家庭への浸透マスの設置の誘導を進めるとともに、雨水を敷地から出さないよう工夫する。また、下水・雨水の分流などハード面での改善に取組む。</li> <li>○雨水浸透マス設置などの雨水対策の取組を進めていくために、もっと市民へPRし風水害に対する知識の普及に努めていく。</li> </ul>	<p>★第6回市民サロンでいただいた提案!</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○緊急輸送道路については、三鷹通りから武蔵境通りに振替えるなど見直し、検討を進める。</li> <li>○災害時における避難路機能の充実のため、行き止まり道路や狭あい道路などの身近な生活道路の改善に向けた取組を進める。</li> </ul>
課題を解決するための取組	
<p>☆その他意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大雨の際など、雨水が敷地から流れ出てしまう場所が多い。雨水をその場で浸透させたり、貯留させたりして、敷地内に留めるなど工夫が必要である。</li> </ul>	<p>☆その他意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急輸送道路は、災害時には重機などの大きな物資を輸送するための道路として活用されるため、一般的な生活道路とは分けて整備を進めていくことが必要ではないか。</li> <li>・狭あい道路や行き止まり道路の早期改善に向けて、積極的な取組が必要である。</li> </ul>



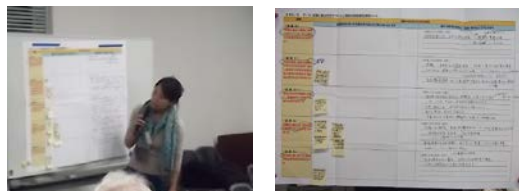
☆Bグループ☆

<b>課題</b> 安全で誰もが利用しやすい、避難場所の確保が必要ではないか。	<b>課題</b> 災害に備えて事前に復興のまちづくりについて検討する必要があるのではないか。
<b>課題を解決するための取組</b>	<b>課題を解決するための取組</b>
<p><b>★第6回市民サロンでいただいた提案！</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○避難所の運営については、地域において十分に話合っ て、地域の特性を生かした運営の仕方を決めるととも に、地域住民にしっかりと周知していく。</li> <li>○より多くの避難場所を確保するためにも、大学、神 社、寺などと積極的に防災協定を結んでいく。</li> <li>○身近な避難場所として、小規模な広場、農地、空き地 も活用していく。</li> </ul> <p><b>☆その他意見</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災活動の周知や啓発のため、市の出前講座を利用 したことがある。地域住民の防災意識を高めていか ないと、避難所の運営はうまくいかない。</li> <li>・避難所の運営方法は、もっと地域住民同士が話し 合いながら決めていくことも必要であり、しっかりと 理解を深めていかなければならない。</li> </ul>	<p><b>★第6回市民サロンでいただいた提案！</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○都市計画マスタープランでは、防災対策に関する取組 について示すことが重要であり、また災害が発生した 場合の都市復興の考え方についても位置づけること が必要である。</li> </ul> <p><b>☆その他意見</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が住む地域で防災訓練があったが、土日の開 催であり参加者が多くなかった。今後、首都直下 型地震の発生する確率も高いことから、もっと住民 の防災意識を高めていかなければならない。</li> <li>・住民の防災意識の向上を含めて、マスタープラン で、防災対策に関する取組をしっかりと示すとも に、大きな災害が起きた場合の都市復興の考え方 についても位置づけることが大切ではないか。</li> </ul>

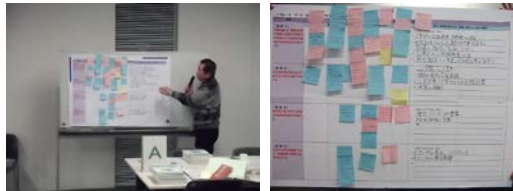
■ Aグループの発表の様子



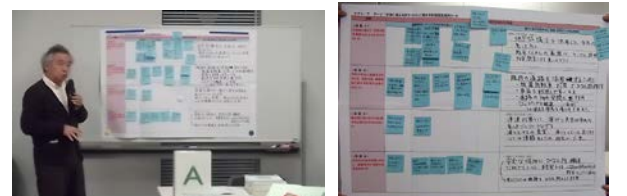
■ Bグループによる話し合いの様子



■ Cグループによる話し合いの様子



■ Dグループの発表の様子



☆Dグループ☆

<b>課題</b> 災害時に備えて、市民の防災意識の向上が必要ではないか。	<b>課題</b> 市民が安全に避難するためにも、救援活動・避難道路に資する対策が必要ではないか。
<b>課題を解決するための取組</b>	<b>課題を解決するための取組</b>
<p><b>★第6回市民サロンでいただいた提案！</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地区協議会等の団体が取組んでいる防災活動を通じて、市民の防災意識向上を図る。</li> <li>○団体においては、防災訓練の義務化を検討するとともに、訓練の状況をケーブルテレビ等の媒体を通じて情報発信し、 防災に対する知識の充実を図る。</li> <li>○子どものころから災害に対する知識を高めるために、子どもでも楽しみながら防災教育を受けられるような工夫を図 る。</li> </ul> <p><b>☆その他意見</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・府中市では「いろはかるた」による防災教育をしている。調布市でも「防災いろはかるた」を作り、子どもでも 楽しみながら防災教育を受けられるような工夫が必要ではないか。</li> <li>・自助、共助、公助というが、まずは自助が大切であり、共助をするためにも自分の身は守らなくては行けない。 人を頼りにせず、常日頃から災害に対する備えをしておくことが大切である。</li> </ul>	<p><b>★第6回市民サロンでいただいた提案！</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○大きな災害時には、既存の道路が避難経路や輸送道路となるため、日ごろから放置自転車対策や駐車場・駐輪場の計 画的な整備等を施し、災害時に向けた取組を進めていく。また、緊急時には歩道と車道を切り替えたいなどの工夫 をし、災害時には利用できる道路を確保していく必要がある。</li> <li>○道路下等の空間を活用した雨水の貯水による消防水利の充実や、災害時に使用できる資機材を普及し市民でも扱える ように防災力の向上を進めるなど、消防活動が困難な地域の解消を図る。</li> </ul> <p><b>☆その他意見</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・甲州街道が緊急輸送道路に指定されているが、災害時には瓦礫等により道路が閉塞され、物資の輸送等に支障を きたす恐れがあるのではないか。</li> <li>・既存の道路をどのように生かしたまちづくりをしていくべきか。モデル的に取り組む地区があってもよい。</li> </ul>